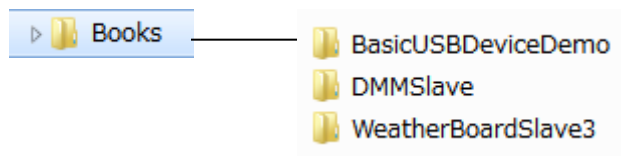


最新版Eclipseの使い方

準備

本の付録CDROMにあるプログラムソースをハードディスクにコピーする

例として、下図のように「D:¥Books」のフォルダを新規作成し、そこにCDROMからプロジェクトのフォルダをコピーし、「プロパティ」で「読み取り専用」のチェックを外します。

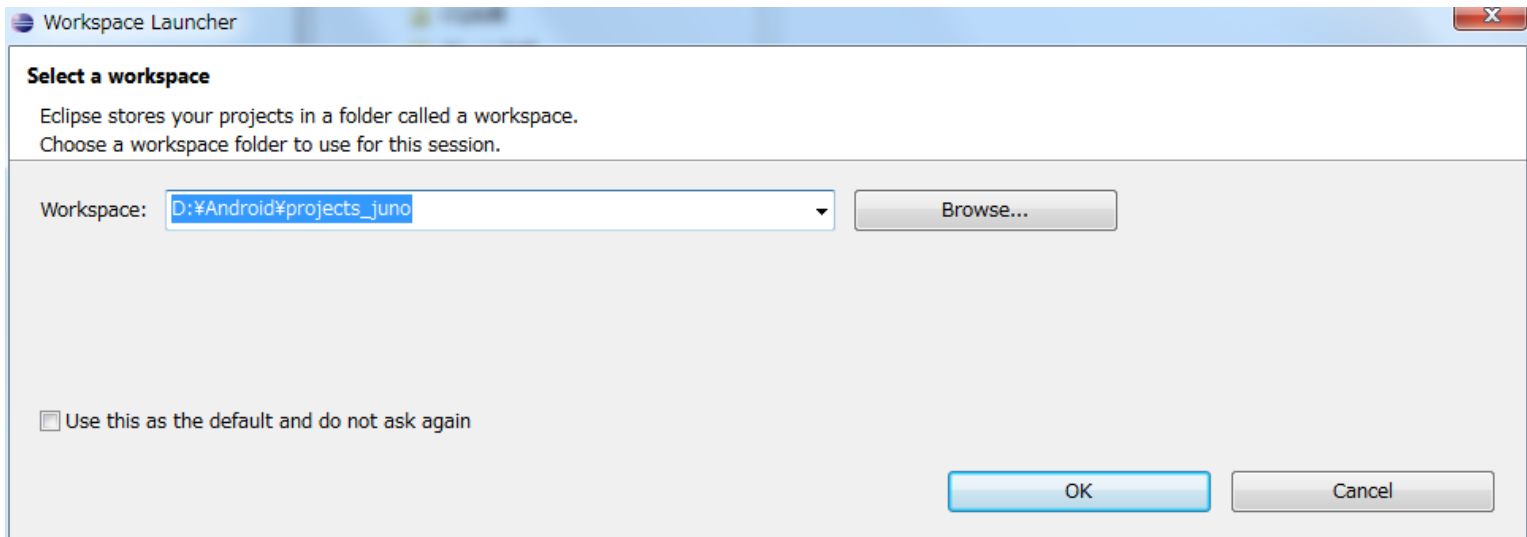


次にEclipseの最新版Juno用のプロジェクトのフォルダを作成します。
ここでは「D:Android¥projects_juno」としました。

Eclipseの起動

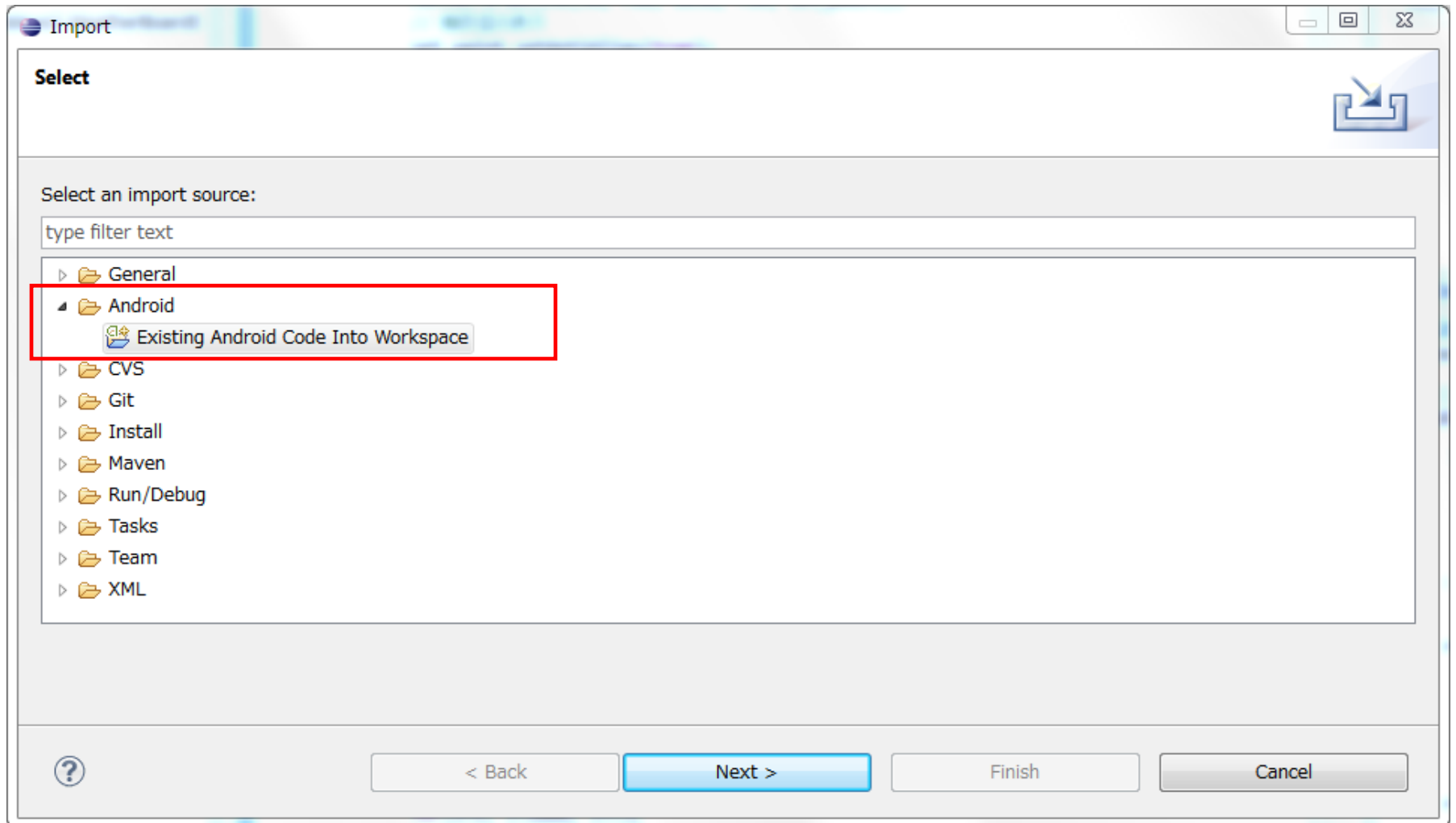
Eclipseの最新版「eclipse-java-juno-win32-x86_64」で既存プロジェクトから新たにプロジェクトを作成する方法です。

Eclipseを起動し、下図の最初のプロジェクトのフォルダ指定で、前準備で作成したフォルダ「D:¥Android¥projects_juno」を指定します。



Eclipseで、[File]→「Import」で開く下記ダイアログで

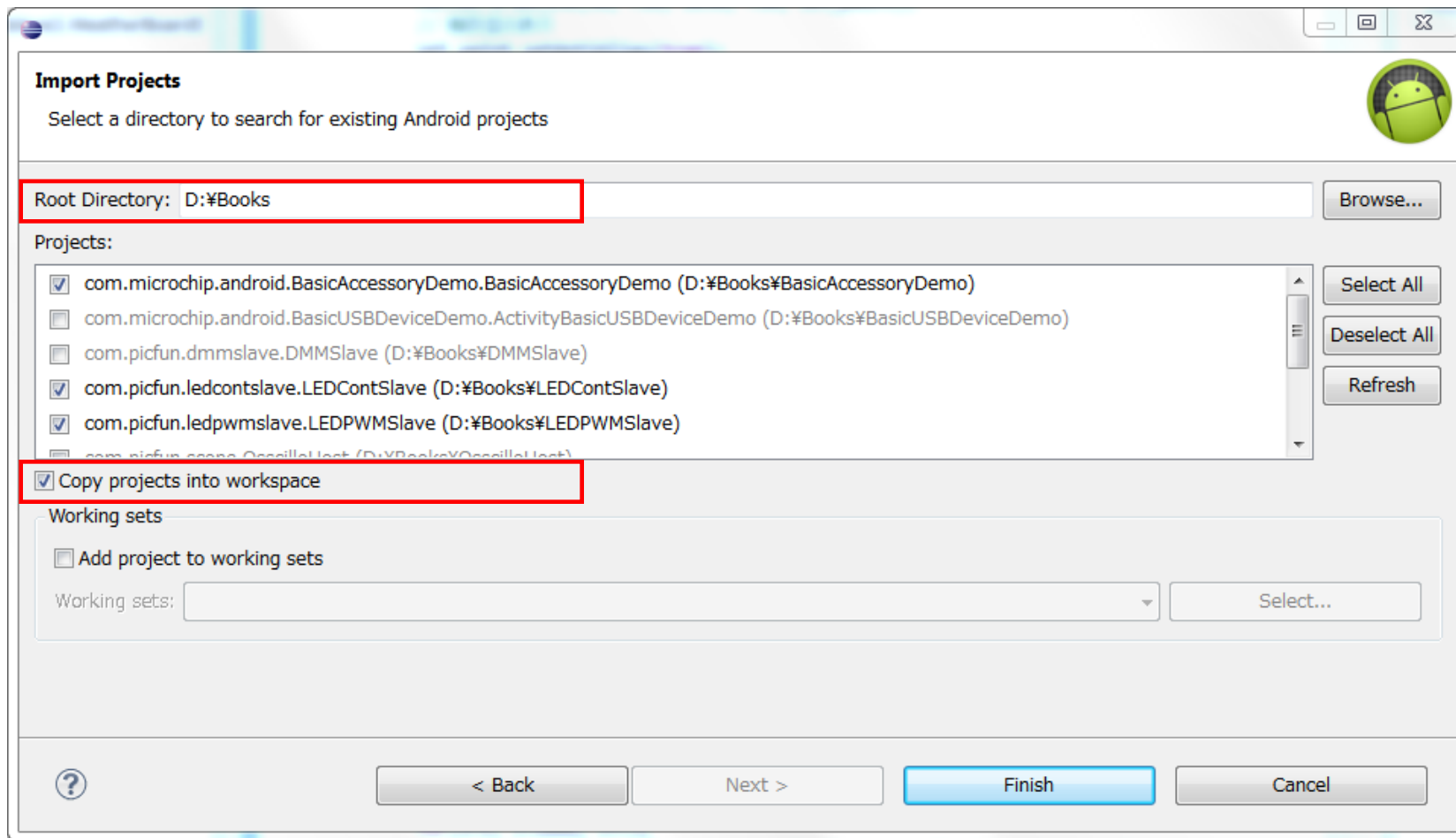
「Android」→「Existing Android Code Into Workspace」を指定して「Next」とします。



これで下図ダイアログが開くので、「Root Directory」の欄にCDROMからコピーするために用意したフォルダ「D:¥Books」を指定します。

これで「Projects」欄にCDROMからコピーしたプロジェクトの一覧が表示され先頭にチェックが入った状態になります。

さらにその下にある「Copy projects into workspace」にチェックを入れて「Finish」とします。



以上で「D:¥Android¥projects_juno」のフォルダにプロジェクトが新たに生成されます。
プロジェクトのフォルダが長いパッケージ名付きになります。
しかし、このままではEclipseの「Package Explorer」欄でエラー状態になっています。

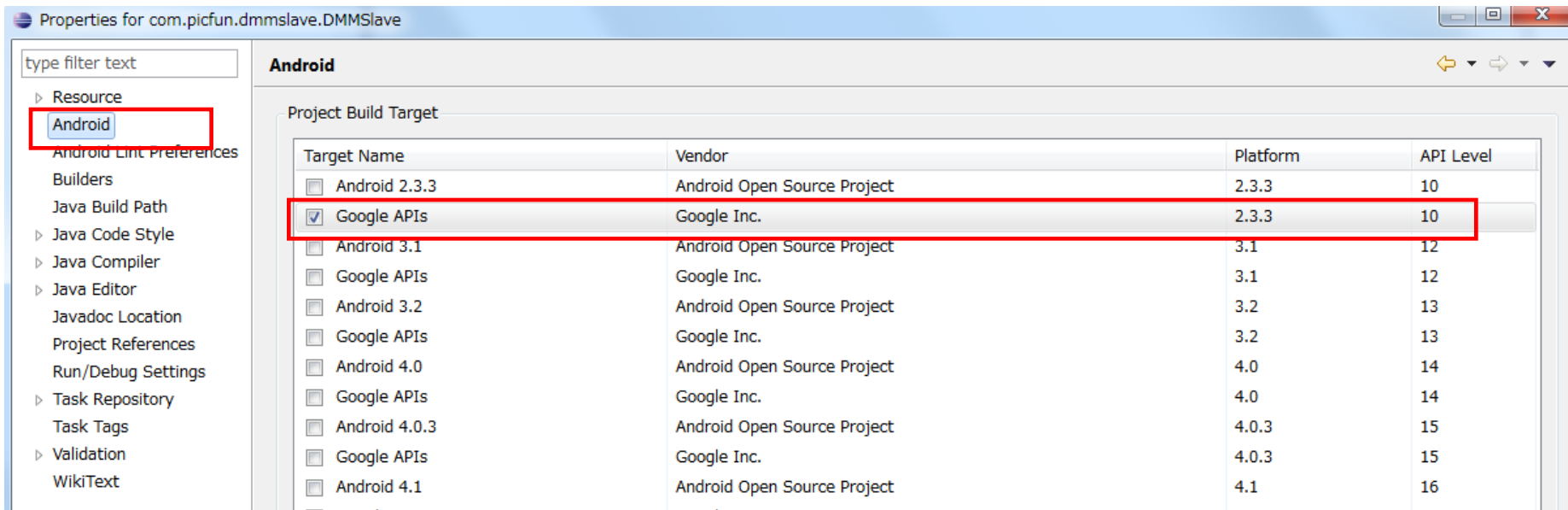
スレーブ側のプロジェクトの場合のエラー修正方法

このPackage Explorerの欄で対象プロジェクトを右クリックすると開くドロップダウンメニューで「Properties」を選択すると下図ダイアログがひらきます。

このダイアログの左欄で「Android」を選択します。

そして開く右側の欄でAndroidのバージョンを「Google APIsの10」を指定します。

その後「Apply」ボタン、「OK」ボタンをクリックします。



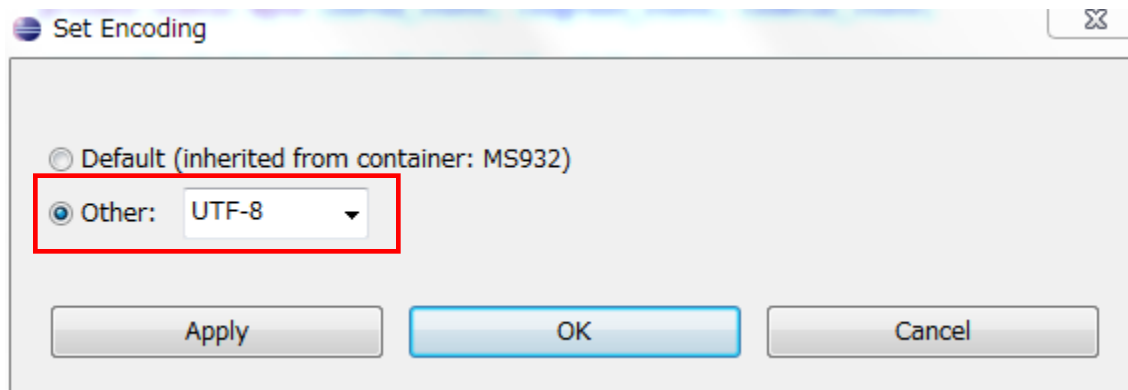
これでソースにだけエラーが付いた状態になります。このエラーは日本語の文字化けによります。

Eclipseでソースファイルを開くと日本語が化けているのが分かります。

文字化けをなくす方法は、エディタ画面を選択してから、[Edit]→[Set Encoding]で表示される下図のダイアログで「Other」にチェックをしてから、「UTF-8」を選択します。

これで日本語が正常に表示されるはずですが。

さらにこの状態で[File]→[Save]とすればエラーはすべて無くなります。



1箇所 Warningが出ますが、そのまま正常動作します。

Warningの消し方はよく分かりませんか？

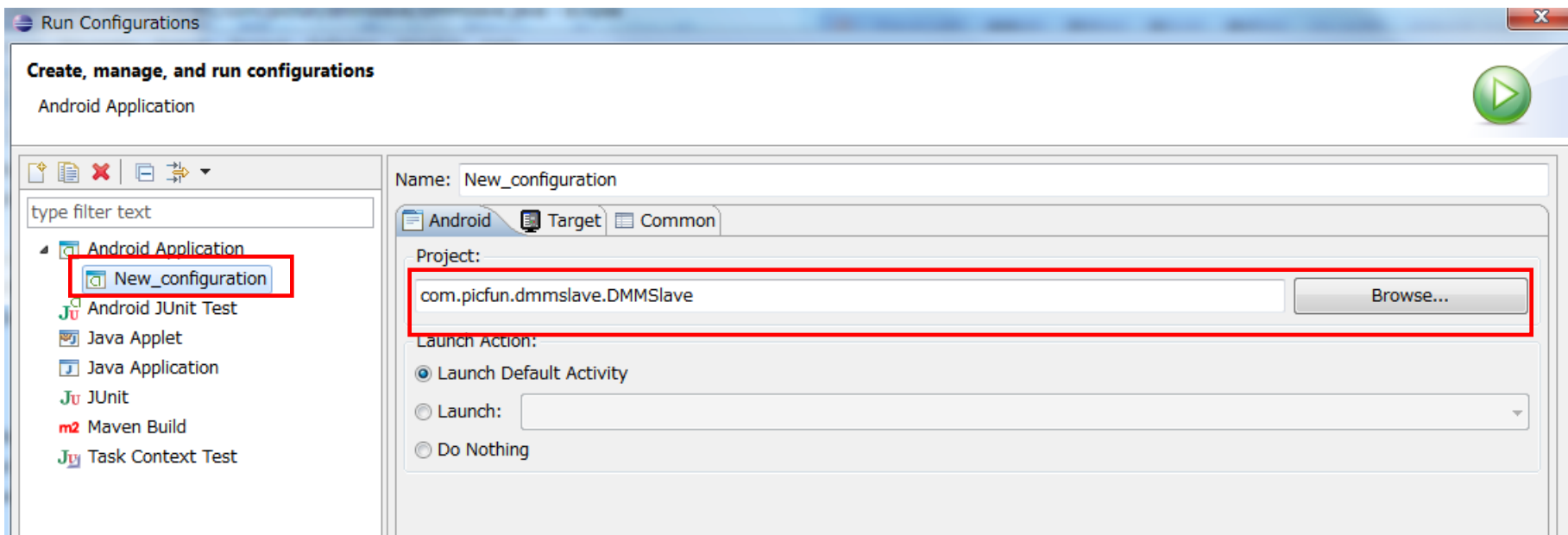
ホスト側の場合のエラー修正方法

やはりエラーとなりますが、こちらは別の問題でエラーとなっています。
まず日本語の文字化けを解消します。
前頁と同じ方法で、文字エンコードを「UTF-8」とすれば文字化けは無くなります。

次にソースファイルの1箇所だけでエラーとなっているはずです。
このエラー行の直前行の「**@Override**」の行を削除すればエラーは無くなります。
Warningが出たままですが正常に動作します。

次にスマートフォンにこのアプリをダウンロードするには、

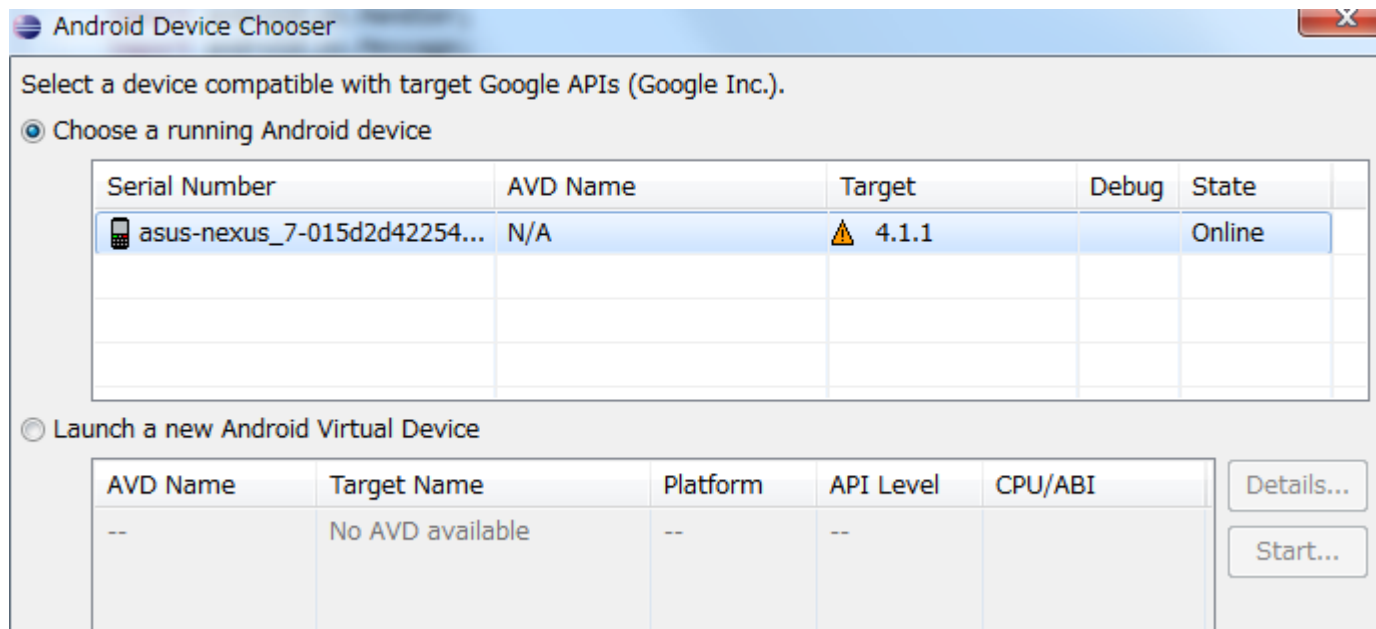
これまでと同じように、 [Run]→[Run Configurations]で開く下図ダイアログで図のようにアプリを指定します。



また、「Target」タブでは、「[Always prompt to pick device](#)」にチェックを入れます。

このあとで「Run」ボタンをクリックします。

これで下図のダイアログが開き、接続しているスマホの行が表示されているはずですので、それを選択して「OK」ボタンをクリックすればダウンロードが実行されます。



Android 4.1.1の場合に必要な修正

スマホがAndroid 4.1.1の場合には、Accessory Protocolが変更されたためPIC側のUSBホストプログラムの修正が必要で、下記手順で行います。

(1) USBフレームワークを最新版として全体を作成し直す。

最新版は「v2012-07-18」となります。

「Android Host Driver」と「usb_config.c」と「usb_config.h」が大きく変更されています。

(2) 「Android Host Driver」フォルダ内の「usb_host_android.c」のファイルにバグがありますので、これをバグ修正済みのものに置き換えます。

(3) 全体をビルドし書き込めば完了です。

以上です。